

| 教育目標        |            | 元気でよく遊ぶ、心あたたかい子どもを育成する<br>○心も体も元気な子<br>○自分をいきいきと表現する子<br>○互いを認め合い思いやる子<br>○仲間とともに育つ子         |   |   |  |   |   |   |   |
|-------------|------------|--|---|---|--|---|---|---|---|
| 保育の視点       |            | 異年齢がかかわる姿に焦点をあてた保育の展開  |   |   |  |   |   |   |   |
| 項目          | 重点項目       | 具体的施策  | 達成目標  | 自己評価  | 成果と課題  | 改善策   | 学校関係者評価   |   |   |
| 学力の向上       | 教育課程・研究推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの伝え合う力を育む保育の実践</li> <li>職員の連携を意識した保育の展開</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>保育の中にペア活動を計画的に取り入れ、子ども同士がかかわる姿から遊びを展開していく。</li> <li>園内研究会を行い、互いの保育や環境構成を見合い教師の保育スキルの向上に努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア活動について計画し実行する。</li> <li>ペア活動や一つ一つの保育において各学年のねらいを明確にし、職員で共通理解しながらすすめる。</li> <li>ペア活動後には課題や良かった点を出し合い、次回の活動につなげ継続して取り組む。</li> <li>学期に1回以上の園内研究会の実施。</li> <li>共同研究園の研修に、担任が1人1回以上参加する。</li> </ul>                           | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア活動について昨年度の反省を踏まえ職員間で話し合い、計画的に実行することができた。そのことでクラスや学年を越えて自然にかかわりが増えてきている。</li> <li>子どもの姿に応じて新しい異年齢活動にも取り組むことができ、子どもたちの育ちが感じられた。(※プレゼントや保護者アンケート参照)</li> <li>これまで以上に、異年齢や子ども同士の自然なかかわりから保育が展開されるよう、各クラスの子どもの実態や遊びの様子をこまめに職員間で共通理解していくことが必要だと感じた。</li> <li>のびのびタイムを始めることで、園児の実態把握や、子供たちの興味関心を深めることができた。</li> <li>共同研究園の研修に参加できたことにより、自園の研究や保育にも取り入れることができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>現時点での異年齢の活動表を完成させ、子どもの育ちや今後の課題を職員間で振り返る。</li> <li>今年度新たに組み込んだ異年齢活動についても、良かった点や課題点を出し合い、来年度に活かす。</li> <li>行事や大きな活動の前にはこまめに話し合いの場をもち、子どもの姿に合わせ環境や援助など臨機応変に保育を展開できるよう取り組む。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>異年齢活動の保育がとても良い。子どもの力にもなるので今後も続けてほしい。</li> </ul>  |   |
|             | 豊かな心・健やかな体 | 健康教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>広い園庭環境を活かした保育</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>その時期や状況に応じ、げんきっ子タイムの時間を設け、ほげんの話(保健指導)を行い、後日げんきカレンダーに取り組む。</li> <li>園内でのほげんの話、保護者に向けてのほげんだよりなど生活習慣について家庭で考えられるよう啓発する。より意識して取り組むことができるよう、げんきカレンダーを実施する。</li> <li>伝え合う力や、生活習慣の見直し、意識の向上につながるよう、保健室の環境整備や保育内容を工夫する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>げんきカレンダー回収率100%を目指し、成果と課題を明確にする。</li> <li>日々の生活の中で正しい生活習慣が身につく、子ども自身がその大切さに気づき、自らすすんで取り組もうとする。</li> <li>教師間で、子どもの実態、遊びの内容の共通理解をする。また、戸外での活動を意識的に設定し子どもが体を動かす機会を確保する。</li> </ul> | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>養護教諭と担任が連携しげんきっ子タイムの実施やげんきカレンダーの取り組みをすすめることができた。保育室の掲示や、歯磨き指導なども子どもの姿に合わせて行っている。日々の保育の中での細やかな指導を今後も意識して取り組んでいく。</li> <li>健康教育について、定期的なHPの更新を心がける。</li> <li>引き続き身体の使い方や運動の基礎を身につけられるよう保育を考え、園にある教材も使いながら取り組む。また、家庭への啓発を行い保健活動にもつなげていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>週案に保健の枠を組み込み、見直しをもった計画や保育内容を共通理解できるよう取り組む。</li> <li>養護教諭、担任が連携し、毎回の取り組みを継続して行うことができるよう園全体で心がけていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>にじいろiruの講演が良かった。勉強になり自分なりに考えをもつ良い機会になる。</li> </ul> |
|             |            | 人権教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>人のかかわりや伝え合いに視点を置いた保育実践</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、保護者ともに互いに認め合える人間関係を築くことができるよう呼びかけていく。</li> <li>飼育、栽培の機会を多くもち、収穫の喜びや命の尊さ等を共有していく。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場に立って物事を考えたり、人のかかわり方を振り返ったりできるような場の設定。</li> <li>自分達で育てた野菜をみんなでお祝いし、おいしさや喜びを共有する場の確保</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き人権・性的マイノリティーなどについて職員で考え意識するとともに、その意図を保護者にも伝えていく必要がある。</li> <li>育てた野菜を子どもたちと一緒に食べることで、おいしさや育てた達成感を共有し、大切に育てる気持ちにつながった。</li> <li>職員全員が連携し、子ども一人一人の育ちや課題を共通理解しながらかかわることができた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学級懇談などで職員の意図を伝え、保護者の方も人権について考える機会になるような場をもつことで保護者啓発を行っていく。</li> </ul>  |   |   |
| 特別支援教育      |            |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども同士のつながりや一人一人の育ちにつながるよう支援していく。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が連携し、子どもの実態把握や具体的な支援方法を出し合い実践する。</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員が連携し、子ども一人一人の育ちや課題を共通理解しながらかかわることができた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルテーション、巡回相談など園以外の他機関とも連携し、子ども一人一人の課題を明確にしていく。</li> </ul>  |   |   |
| 開かれ信頼される学校園 | 保護者・地域との連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育への理解へと繋がるような保護者、地域との連携</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのかかわりを深め、保護者、幼稚園、第三者と一緒に子どもの成長を見守っていく体制を整える。</li> <li>伝え合う力を育むために、保護者への絵本貸出、親子での絵本タイムに取り組む。</li> <li>おぎのっ子タイム毎月1回15:00までを取り入れる。</li> <li>HPや園長通信を通し保育の様子を発信する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協行事には、毎回職員1名以上が参加する。</li> <li>園児自らが地域に出向き、地域の方とのつながりの場をもてるよう保育を行う。</li> <li>保護者がいつでも絵本を借りることができるよう職員室前に絵本棚を設置する。</li> <li>保護者向けに絵本の読み聞かせを行い、また子どもと共に親子で絵本を読む時間を取り入れる。</li> <li>HPは月1回以上の更新をする。</li> </ul>               | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方に来てもらうだけでなく、自ら出向き地域の方に温かく迎えてもらうことで、子ども達の自尊心の向上につながった。</li> <li>昨年度に引き続き、保護者向け絵本の読み聞かせや貸し出しを行うことができた。保護者の貸し出し数が昨年より増えた。</li> <li>HPは月1回でなく、行事の度に更新したことで、園が大切にしていることや、園児の様子を発信することができた。</li> <li>園長だよりは字を少なく写真を多くしたので保護者に伝わりやすくなった</li> <li>保育所の職員に劇遊びを見に来てもらえた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、地域とかかわりをもつことができるよう園全体で意識して取り組み、保育の中に取り入れていく。</li> <li>HPを見ている保護者が少ないことがアンケート結果でわかった。コンテンツなどを工夫していく必要がある。</li> <li>保護者負担の軽減のため、PTAの役員活動や一人一役を見直していく</li> <li>今後は共に幼児教育を担っていく立場として荻野保育所と園内研究会などをともにしていく。</li> </ul>                           |   |   |
| その他         | 安全管理       | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全で過ごしやすい生活の場としての環境作り</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全点検日を年間計画に取り入れ園だよりにも記載し、職員の意識向上に努める。</li> <li>様々な場面を想定した避難訓練を行い、安全について子どもと考える機会を設ける。</li> <li>遊びの後には、子どもと園庭清掃を行う。</li> <li>保護者と共に安全な環境づくりに努める。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全職員の目で日頃から安全点検に努める。遊具や用具、園庭や保育室内を常に安全に保つ。</li> <li>2か月に1回以上の避難訓練の実施。子どもが自分で自分の身を守る方法を知る。</li> <li>子ども自身も意識し、園全体としてきれいな園を保つ。</li> <li>参観日毎に、園庭清掃などの活動に取り組む。</li> </ul>  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>園庭の安全管理、清掃などは保護者や地域の方にしていただくだけでなく、園児も共に活動することで、自分達で園を作り上げようという気持ちにつながった。</li> <li>安全点検は、計画的に行うことが難しかった。リスク回避の視点から改め予防策に努めていく必要がある。</li> <li>次年度に向け、少人数の職員体制で子どもたちの安全管理によりいっそう努めていく。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>園児が自分達で環境を整える気持ちをもてるよう、今後も積極的に取り組む。</li> <li>週案の話し合い時に安全点検の予定を確認し、計画的に予防に努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理において、子どもや保護者も共に行うと良いのではないかと。(年度初めの園探検などの中で安全点検も行うなど)</li> </ul>  |   |

